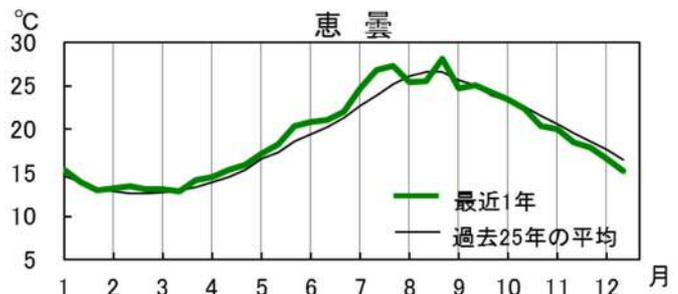
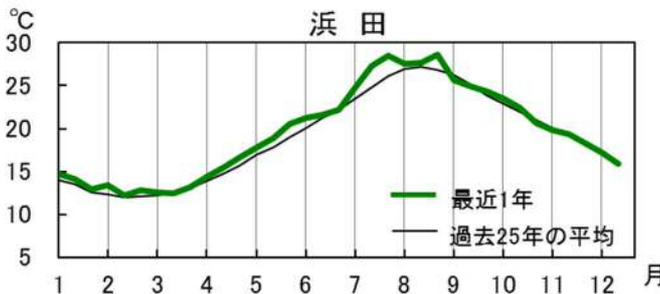




《11～12月の海況》

11月	月平均	平年差	評価
浜田	19.2℃	0.0℃	平年並み
恵曇	18.9℃	-0.8℃	かなり低め

沿岸定地水温は、浜田地区では、11月は上・中・下旬にかけて「平年並み」となり、12月に入り上旬時点で「平年並み」で経過しています。恵曇地区では、11月上旬は「やや低め」、中旬は「かなり低め」、下旬は「やや低め」となり、12月に入り上旬時点で「かなり低め」で経過しています。



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は16.4トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マアジは203トンで平年の1.1倍となりましたが、サバ類は43.2トンで平年の2割程度となりました。隠岐地区ではマイワシ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は67.9トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、マイワシは3,119トンで平年の1.7倍、ブリは1,794トンで平年並みとなりました。また、カタクチイワシが1,019トンで平年の4.2倍でした。しかし、例年11月に漁獲の主体となるマアジは189トンで平年の1割以下、サバ類は13.9トンで平年の1割以下に留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(全体の96%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではソウハチ、アンコウ、アナゴ類を主体に、1統1航海当たりの漁獲量は18.0トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチは平年の1.6倍、アンコウは平年並み、アナゴ類は平年の1.4倍の水揚げでした。その他、マダラは平年の1.9倍、アカムツは平年の1.7倍、マダイは平年も2.1倍の水揚げだった一方、ムシガレイは平年の6割、ケンサキイカは平年の3割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、マダラ、キダイ主体の漁況で、総漁獲量は393トンで平年の9割、1統1航海当たりの漁獲量は861kgで平年の1.1倍でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチが平年の1.7倍で、マダラは平年並み、キダイは平年の9割、ニギスは平年の9割、アンコウは平年の7割、アカムツは平年の8割でした。その他、ミズダコは平年の2.5倍、アナゴ類は平年の4割、ヒレグロは平年の2.4倍、アマダイは平年の1.5倍、ヤリイカは平年の2割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は44.8トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウダガツオは平年の20.7倍の漁獲量でした。石見地区ではサバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は50.6トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウダガツオは平年の154.3倍の漁獲量でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は32.1トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の8.13倍の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は30kgで平年並みでした。石見地区ではサワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は20kgで平年並みでした。隠岐地区ではメダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は24kgで平年並みでした。

【平成 29 年 11 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ	262 トン	39%	60%	16.4 トン	49%	80%	○
	隠岐	マイワシ、ブリ	6,993 トン	95%	83%	67.9 トン	97%	86%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	12.2 トン	52%	41%	27kg	65%	58%	▲
	西郷	ケンサキイカ	1.0 トン	38%	12%	15kg	71%	18%	▲
沖合 底びき網	浜田	ソウハチ、アンコウ、アナゴ類	380 トン	111%	106%	18.0 トン	117%	125%	◎
小型 底びき網	大田	ソウハチ、マダラ、キダイ	393 トン	102%	91%	861kg	116%	109%	◎
定置網 (大型)	出雲	サバ類	538 トン	125%	147%	44.8 トン	136%	150%	◎
	石見	サバ類	203 トン	123%	195%	50.6 トン	123%	185%	◎
	隠岐	ブリ	96 トン	177%	196%	32.1 トン	177%	183%	◎
釣り・縄	出雲	サワラ類	39 トン	97%	85%	30kg	103%	110%	○
	石見	サワラ類	36 トン	86%	79%	20kg	97%	90%	○
	隠岐	メダイ	19 トン	101%	76%	24kg	110%	104%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

【お知らせ】「海流・水温の分布予測図」の公開について



パソコンやスマートフォンで現在および将来の島根県沿岸の「海流」と「水温」の水深別の分布図(コンピュータシミュレーションによる計算値)を見ることができます。

1. アクセス方法・・・パソコンかスマートフォン等で下記のホームページを見てください。

- ・島根県水産技術センタートップページ → 「島根の水産業と魚」の「海況情報」 → 2. 海流・水温の分布予測図 (水産技術センタートップ <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)
- ・もしくは検索サイトで「島根県 海流 水温」で検索してください。

※ スマートフォン・タブレットの方は下記の QR コードをご利用ください。



隠岐・出雲海域



石見海域

2. 使い方

DREAMS-C 簡易表示ツール
隠岐・出雲海域の流況と水温予測 (c) 2017 京都府農林水産技術センター海洋センター

(1)日時を指定
日本時間 2017 年 12 月 6 日 15 時 30 分
標準時 2017 年 12 月 6 日 6 時 30 分

(2)水深を指定
水深 10 m

(3)流況か水温を選択
表示項目 流況 水温

(4)海域を指定
表示海域 隠岐・出雲(広域) 隠岐 出雲
石見海域はこちらを参照

(5)「描画」ボタンを押す
描画

(6)流況(もしくは水温)の分布図が表示される
Bckgr: Mag of Sea Current
level [m/s]+Sea Current at Model Level [m/s];
UTC (FRC 14H); Dep=10 m

※本サイトは九州大学応用力学研究所の流況・水温の予測モデル「DREAMS」のデータを使用しています。また、本サイトで使用している「DREAMS 簡易表示ツール」は京都府農林水産技術センター海洋センターの提供です。